



結果

- 生徒の評価が 高かった 項目
 1. わたしは学校の規則に従い、身だしなみを整えている。
 2. わたしは学校生活の中で、他者の人権を大切にすることを心がけている。
- 生徒の評価が 低かった 項目
 1. わたしは学校の図書館を利用している。
 2. 私は「図書館だより」等を通じて図書館の活動について知っている。

- 保護者の評価が 高かった 項目
 1. 学校の教育活動において、子どもや家庭の個人情報を守られている。
 2. 教員は子どもの規範意識の確立や身だしなみの指導に努めている。
 3. 学校は子どもの怪我や体調不良の時、適切な対応ができています。
- 保護者の評価が 低かった 項目
 1. 学校の施設や設備は充実している。
 2. 学校は図書を整備を行い図書に関する情報等を提供し、イベント等を実施し子どもの図書館の利用促進に努力している。

その他 気になる 項目

1. 教員は授業改善に努め、指導方法等の工夫に努めている。 **70.8%**
(保護者アンケートより)
2. 悩み等についての相談を先生にすることが出来る。 **45.8%**
(生徒アンケートより)
3. わたしは授業の予習・復習・検定の勉強等、自主学習に励んでいる。 **39.7%**
(生徒アンケートより)

分析

- 多くの生徒が「将来の進路に関して真剣に考えている」「授業に集中して取り組んでいる」と答えている反面、予習・復習・検定の勉強等、自主学習については十分に出来ていないと答えている。
- 約30%近くの生徒が、授業がわかりにくいと感じていて、授業に満足できていない。
- 生徒、保護者とも、学校の身だしなみ指導等については、一定の理解を得ている。
- 図書館利用については、今年度も重点課題として「図書館だより」等を通じて広報活動に努めてきたが、コロナ感染症の関係で図書館の人数制限等を設けるなどした関係で利用者の促進にはつながらなかった。
- 生徒は悩み事について先生にすることができないことから、スクールカウンセラーの利用率が高くなっている。

このような結果を受けて、学校としては

- ①自分の行動に責任を持ち、実生活・実社会で主体的に生きていくために必要な力を備えた生徒を育てるために、まずは職業人としての基礎・基本をしっかりと定着させることを目指し、学業はもちろん、挨拶や言葉遣い、身だしなみ等の指導にも引き続き学校全体で取り組む。
- ②授業改善と授業力向上、進路保障にむけて、引き続き研究授業週間を設けること、本年度行った小論文指導の研修会を継続するなど教員の意識を高める取り組みを行う。
- ③図書館を有効に活用するために、コロナ禍でも利用できる環境づくりを進め、生徒が図書館へ足を運ぶ機会をさらに増やせるよう、図書館オリエンテーションの実施や、図書館だよりの発行、また、ホームページでも図書館や図書委員の活動を積極的に発信する。
- ④生徒とのコミュニケーションを積極的にとり、面談時間を確保する。また、スクールカウンセラーの学校配置時間数を増やしてもらえるように要望。

総括を基にし、本校課題の明確化と改善について職員全体で協議し、運営委員会において具体的な改善方策を打ち出して学校改革を進めている。この4点を次年度の重点項目とする方向で考えている。